

郷土の森林 (郷土の動物ゾーン) の展示イメージ

展示内容

このゾーンでは、昔から人間の生活と密接に関わってきた里山や森林の動物とその生活を、現況の照葉樹林 (到津の森) を生かしながら展示する。

展示方法

現況の照葉樹林に落葉広葉樹などを補植しながら環境の多様化を図り、森林性ほ乳類などの生息環境を再現する。観覧方法は、樹林の中を来園者自身が歩き観察することにより展示動物を見つけだすような擬似自然観察体験ができる展示とする。

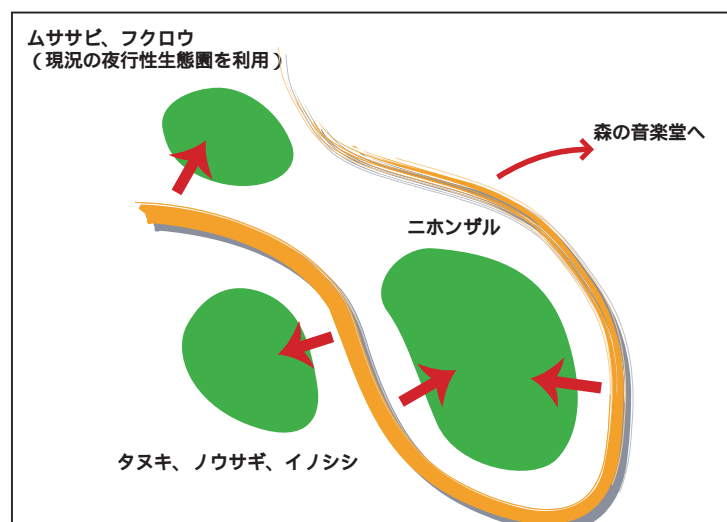
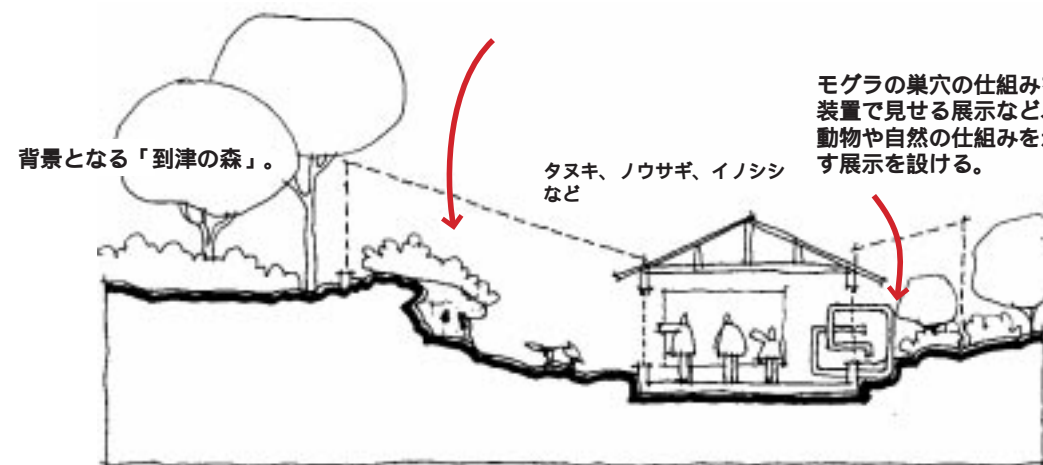
園内配置

到津の森の現況樹林を損なわない空地などを中心に展示施設を点在させる。

動物種

現在の展示動物から、日本に生息する代表的な小型ほ乳類や鳥類を中心に選定する。また、現況の夜行性生態園を有効利用するため、森林の夜行性動物も合わせて選定する。

小型動物は、動物の活動や巣穴などが近くで観察できる様、ケージ (アミ) による展示を行う。



「郷土の森林」の展示構成

森を散歩していたら、ふとニホンザルを見つけた様な雰囲気を感じられる、樹林に囲まれた観覧園路。

「到津の森」の樹木を最大限に生かしつつ、植物の補植などにより多様で自然性の豊かな森林へと更新する。

